

一筆啓上

作左通信



第十九号 平成十五年十二月二十六日(金)発行

「天高く 馬肥ゆる秋」

まさにこの言葉のように、雲一つ無いさわやかな秋晴れのもと、今年も「ふれあいウオーク祭り」が、十月十九日(日)に開催されました。

朝早くから歩こうと準備をして、学校で待って見える家族の方々が多く見られました。「全部まわるぞ」「ゆつくり楽しんで歩くよ」など、子供たちも元気はつらつ。

まずは学校から出発。市民ホームにある「一筆啓上

碑」を見て法性寺へ。そこ

では「ダーツ」が行われていました。みんな的に当たらず四苦八苦。でもなんとかクリア。そして、宮地町の「妙国寺」を経由して「犬頭神社」へ。見えてきたのは、なんとおもしろいみたらしだんごのコーナーが。ここでちよつとひと休み。外でのおだんごもまた格別の味が。

しばらく休憩した後、気持ちを入れ直して、また出発。リサイクルの大久保東海を通り赤渋町へ。つい一

週間前は、御鋸神社ではお祭が行われ、餅投げでは、大変な人でにぎわっていました。その赤渋町を通り過ぎて中之郷町へ。だんだん家が少なくなり、田んぼや畑が見えてきます。矢作川からのさわやかな秋風が、頬に当たり、ほんとうに心地よい気持ちにさせてくれます。「大聖寺」「浄妙寺」のチェックポイントを通り、「松林寺」へ。

そしていよいよ学校到着。学校が最終チェックポイントです。どの人も歩き終わると、全部まわったという充実感と達成感に満ちていました。中には、汗だくだくの人もあるほど。地域の人や子供たちにとっ

ったり新たに地域を知ったりするとてもよい機会だったように思います。

今、このような行事が六ツ美地区でも様々な形で行われています。家族や地域とのふれあい、また健康のためにと参加する人たちが毎年さくさんみえます。今後も、さらに工夫を凝らして続けていきたいと考えています。



—楽しそうに歩く家族連れ—